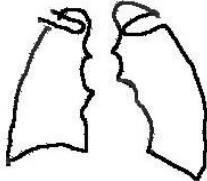
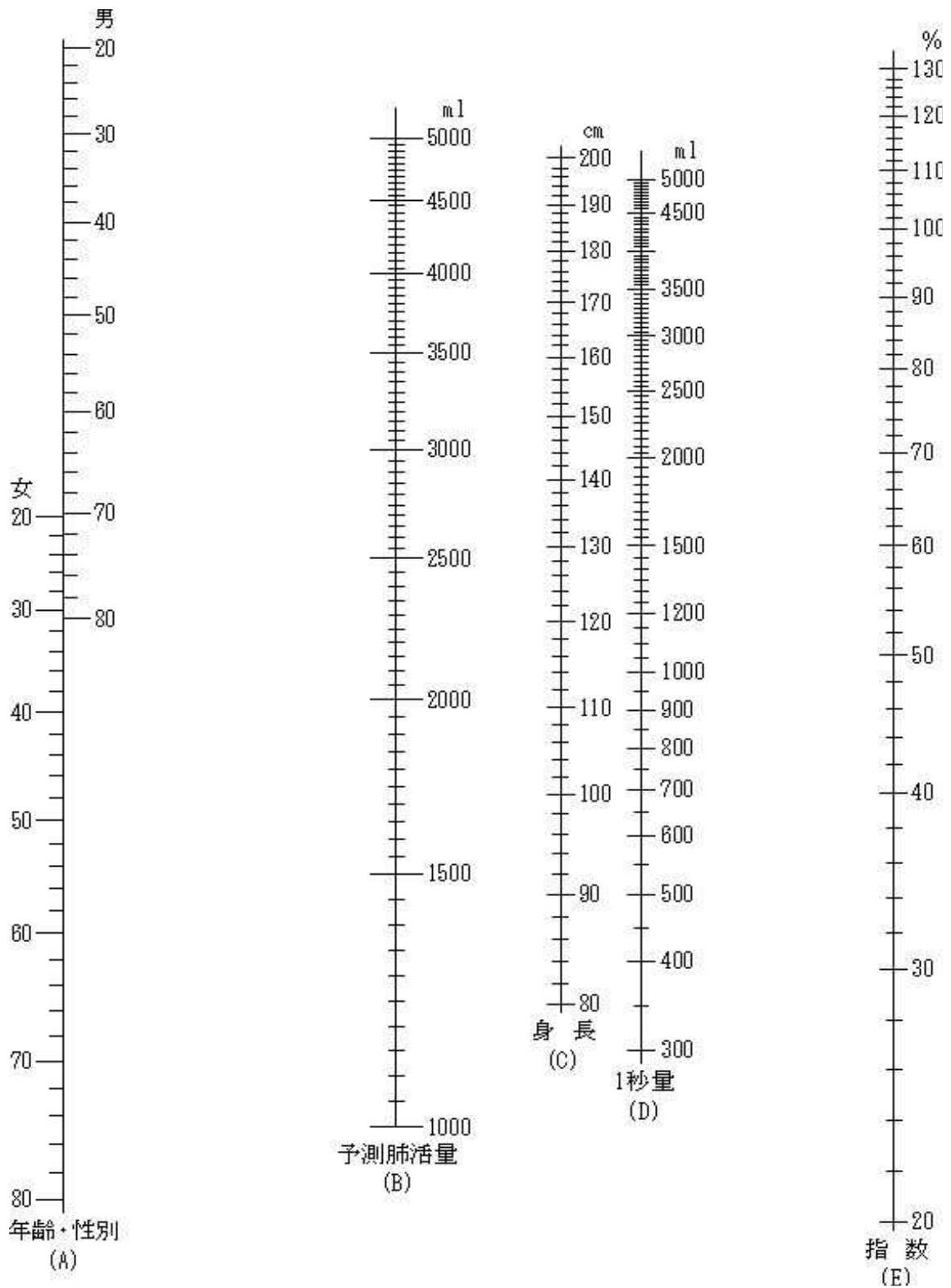


介助用車椅子・電動車椅子 補装具費支給意見書（呼吸器機能障害者用）

氏名	男 女	生年月日	年 月 日生
現在までの 治療内容			
臨床所見			
胸部X線 所見	ア 胸膜癒着 （なし・軽・中・高） イ 気腫化 （なし・軽・中・高） ウ 繊維化 （なし・軽・中・高） エ 不透明肺 （なし・軽・中・高） オ 胸郭変形 （なし・軽・中・高） カ 心縦隔の変形 （なし・軽・中・高） 		
身体計測	身長 c m、体重 k g		
換気機能		ガス交換機能	
ア 予測肺活量 _____ ☐ イ 1 秒率 _____ ☐ ウ 予測肺活量 1 秒率 _____ % (ア、ウについては裏面のノモグラムを使用してください。)		ア 動脈血O ₂ 分圧 _____ mm Hg イ 動脈血C O ₂ 分圧 _____ mmHg	
活動能力の 所見	ア 階段を人並みの速さで昇れないが、ゆっくりなら昇れる。 イ 階段をゆっくりでも昇れないが、途中休み休みなら昇れる。 ウ 人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。 エ ゆっくりでも少し歩くと息切れする。 オ 息苦しくて身の回りのこともできない。		
意見	介助用車椅子・電動車椅子の使用は（適当・不適當）である。		
以上のとおり意見する。 年 月 日 医療機関名 医師氏名 意見書作成医の資格 ☐ 身体障害者福祉法 15 条第 1 項に基づく指定医 ☐ その他()			



[ノモグラムの使い方]

- 1 (A)と(C)から、(B)上に Baldwin の予測式による予測肺活量が得られる。
(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。
- 2 (D)を1秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。
- 3 (B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の1秒率が得られる。